

のびのび



2020年度校長室だより 第4号 令和2年7月 3日

湯田小学校のキャッチフレーズ：あしたも会おうね 温かい学校 ～ 学び合い ～

2020年度チャレンジ目標：湯田小ABC 合い言葉：やさしい言葉がひびきあう

私のルーティンワーク

校長 伊藤 豊

人の性格は、なかなか変えられないもので、私などは、いつまでたってもどっしりと構えることが苦手です。日がな一日校長室にて執務することは、大の苦手です。何か見つけてはごそごそ歩き回っています。私がどのような一日を送っているのかここで少しご紹介いたします。

朝

出勤後、まずはメールを確認します。その後、一日の熱中症指数を確認して、職員室の所定の黒板に表示します。続いて、登校時刻より早めに到着した児童が待機できるよう、遊具広場にコーンで表示を行います。ここから、朝の挨拶が始まります。現在は、体育館工事のために昇降口までのルートを変更していますので、仮設の横断歩道で児童の登校を見守ります。登校する児童に「おはようございます」と声をかけますが、毎朝、400～500回は言っているような気がします。マスクをしているので、おなかに力が入ります。



その後、朝の挨拶運動を始めた総務委員さんのお手伝いをします。8時15分のチャイムを確認して、裏門を閉めて校舎内へ戻ります。

続いては、校舎内の巡回です。各教室で、先生の指導に従って学んでいる子供たちの様子を見て回ります。今は、校舎内の換気の様子も気にして歩いています。

中休み

子供たちの多くが運動場や遊具広場へ出かけますので、安全に過ごしているかどうかを外で見守ります。1年生も遊び方が随分と上手になってきています。休み時間の終わりかけには、ミニスケッチブックで「手を洗おう」と呼びかけます。

その後、しばらくは校長室でおとなしく座って仕事をします。机に向かえば、いろいろとやるべき仕事はありますが、教室の子供たちはどんな様子かなと気になっています。11時40分になると、エプロンを着け、手を洗って給食調理員さんたちの事務室に移動します。ここで、「検食」を行っています。全校で誰より早くにおいしい給食をいただけるのはうれしいのですが、一人きりで食べるのは寂しいものです。その後、給食配膳室に移動して、各学級の給食当番が混乱しないように交通整理のようなことを行います。給食当番には、引率の先生がいっしょです。本来なら交通整理も必要ないのですが、静かに当番活動を進める子供たちが見たくてその場にいます。給食の配膳終了のタイミングで低学年教室を中心に食欲の様子を見て歩きます。

昼休み

再び遊具広場や運動場で子供たちの遊びを見守ります。子供たちといっしょに走り回っている先生の姿を見ると、心からうらやましくなります。掃除の時間は、玄関前の廊下を6年生といっしょにぞうきがけしています。本校はサイレント掃除を進めていますが、6年生はそのお手本となって活動しています。

5時間目が始まる前に、ミニスケッチブックを持って「手を洗おう」と呼びかけながら校舎内を巡ります。その後、校長室で仕事の続きをします。たまに、子供のお客さんがあれば、その相手を行います。

放課後

5校時が終わると、1年生が下校し始めます。色別下校に少しずつ慣れてきた1年生の下校指導を生徒指導主任と共に手伝います。その後引き続き、全校児童が下校するのを学校近くの歩道で見守ります。

こうして、歩き回することは終了です。あとはひたすら校長室でデスクワークです。放課後は、打ち合わせや会議へ出かけることもあります。スマホの万歩計は毎日約14000歩を平均して刻んでいます。直接子供たちの指導を行っている教職員はもっと多くの歩数になるのだろうと思いますが、私も可能な限り子供の指導に直接関わりながら、湯田小学校での日々を人生に刻んでいきたいと願っています。ひたむきでぬくもりのあるさわやかな湯田小学校をめざして。

令和2年度 第1回学校運営協議会を開催しました

去る7月2日、本年度第1回学校運営協議会を開催しました。本年度から2年間、山口市教育委員会から新たに学校運営協議会委員に任命された委員の皆様、学校再開後の児童の様子や新型コロナウイルス感染拡大防止策や今後の学校運営についてお話しし、ご意見をいただきました。

新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、どこまで児童の活動を保証できるのか、学習に必要な時間をどのように生み出し、学び残しが生じないようにしていくのかについて話題となりました。本校の学校運営協議会委員のみなさんは、それぞれのお立場で本校児童や湯田地区、学校教育に携わっていらっしゃる方ばかりです。そういった意味で、たいへん心強い方々です。子供たちの声が響き合う学校を取り戻すために、今年1年間も、たくさんのお知恵を拝借させていただきます。

あいさつ標語参加賞贈呈式

去る6月29日（月）、昨年度末に全校児童が応募した「あいさつ標語」に対して、湯田地区社会福祉協議会さまから参加賞の贈呈がありました。当日は、増本会長様、金重事務局長様を学校にお迎えしました。児童代表として、総務委員会の児童が贈呈式に参列しました。

増本会長様からは、多くの作品応募があったことへのお礼と、湯田地区のみなさんは、湯田地区コミュニティだよりに掲載されているあいさつ標語を楽しみにしていらっしゃる、何よりこれからもしっかりと明るく気持ちのよいあいさつを心がけてほしいとお話してくださいました。総務委員会委員長も、学習に役立つ参加賞へのお礼と、あいさつ運動への意欲を述べました。



新型コロナウイルス感染拡大防止策により、日頃出会う人々の表情が見えにくくなっています。もしかしたら、あいさつの声もマスクに邪魔されているのかもしれませんが。感染防止は大切ですが、新型コロナウイルスに湯田地区の明るいコミュニケーションまで奪われるわけにはまいりません。学校では、引き続き明るくさわやかなあいさつを奨励し続けます。マスク越しで少し元気がないようでしたら、励ましていただくと共に、保護者や地域の皆さんに模範を示していただければ幸いです。